

2019年9月6日 名古屋柳城短期大学附属 三好丘聖マーガレット幼稚園 林 知子

今回は「失敗を恐れるようになったら~前編~」をお伝えしていきたいと思います。 乳幼児期から幼児期になると、自分の苦手な事や嫌いな事を避けるお子さんも多いようです。 どうすれば失敗を恐れずに意欲的に取り組める気持ちを育てる事ができるでしょうか。

失敗を怖がるのは成長の証

1・2歳児では、自分の実力を超えることをやりたがりますが、3歳を過ぎると徐々に「失敗してしまうかもしれない」「うまくできないかもしれない」と予測できるようになるため、挑戦をためらってしまう事があります。4・5歳になると友だちと比較するようになり、競争意識が高まります。ただ、自分の能力を把握できていないので、うまくできないと怒ったり泣いたり、思い通りにならない事があると分かると失敗を怖がるようにもなってしまうのです。

しかし、この失敗を恐れる気持ちが芽生えてくるのは、発達段階から見てごく自然な事です。

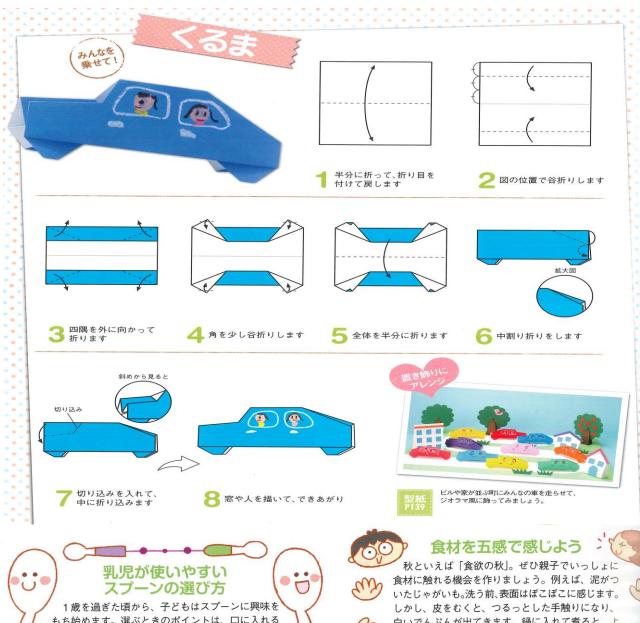
失敗を怖がる理由

- ①過去の体験がトラウマになっているお子さま
 - 過去に大きな失敗をして笑われたり、辛い思いをしたりした場合、そうした経験が本 人のトラウマになってしまう事があります。
- ②失敗に厳しい環境にいるお子さま
 - 失敗に対して「ダメじゃない」と叱ったり、「そんな事もできないのね」と笑ったり、 からかったりする方が周囲にいると、子どもは自信をなくしてしまいます。
- ③プライドが高いお子さま
 - プライドが高く、他の人に負けたくないという気持ちが強いお子さまの場合、失敗した姿を見せたくないがゆえに挑戦を避けることがあります。
- ④心身や心の発達がゆるやかなお子さま
 - 病気がちなお子さまや早生まれのお子さまなどは、周囲のお子さまより身体や心の発達がゆっくりであるがため、劣等感を覚えやすいことがあります。

まずは「失敗しても大丈夫」と受け止めて!

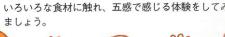
「失敗しても大丈夫だよ」という事を、生活の様々な場面で伝えて欲しいと思います。 そのうえで「できない」~と言うのであれば、なぜやりたくないのか、なぜ怖いのか、その 気もちをじっくりと受け止めてあげてください。挑戦した結果、うまくいかなかった場合も 同じです。残念だった気持ちやイライラする気持ちを受け止めてあげてください。

次回は、「失敗を恐れるようになったら~後編~」をお伝えします。



1歳を過ぎた頃から、子どもはスプーンに興味を もち始めます。選ぶときのポイントは、口に入れる だ円形の部分が、子どもの口の1/3~2/3の大きさ であること。柄の部分は、長すぎず、子どもがギュ ッと握って使える形の物を。初めは柄の部分に少し カーブがついた物が食べやすいでしょう。1歳で上 から持つ「上握り」、1歳半を過ぎた頃から「鉛筆 握り」へと変わっていきます。年齢や成長に合わせて、 食べやすいスプーンを選びましょう。 秋といえは「良飲の水」。もび続子でいっしょに食材に触れる機会を作りましょう。例えば、泥がついたじゃがいも。洗う前、表面はぽこぽこに感じます。しかし、皮をむくと、つるっとした手触りになり、白いでんぷんが出てきます。鍋に入れて煮ると、よい香りがして、ほっくりとした食感に大変身。このように、たった1つの食材でも、子どもたちは実際に体感することで、食への興味が深まり、食べ物がよりおいしく感じられることでしょう。家庭でも、











《子育て相談》

自分の子育てにこれでいいのかな?と不安に思われた時、 こんな時どうしたらいいのと思われた時にお話にいらっしゃいませんか? 保育経験者がお話しさせていただきます。お電話で予約していただき、 ご都合の良い日を決めさせていただきます。

TEL 0561-36-8373

お電話お待ちしています